

平成23年度環境ホルモン実態調査結果

①河川水質

単位: μ g/L

物質名	全国濃度範囲	検出 下限値	錦川 E-C-5	厚東川 U-C-2	阿武川 B-C-1	木屋川 S-C-3
トリブチルスズ	ND ~ 0.09	0.002	ND	ND	ND	ND
トリフェニルスズ	ND ~ 0.006	0.001	ND	ND	ND	ND
アルキルフェノール類						
ノニルフェノール	ND ~ 21	0.1	ND	ND	ND	ND
4-n-オクチルフェノール	ND ~ 0.01	0.01	ND	ND	ND	ND
4-t-オクチルフェノール	ND ~ 13	0.01	ND	ND	ND	ND
ビスフェノールA	ND ~ 19	0.01	ND	ND	ND	ND
ベンゾ[a]ピレン	ND ~ 0.07	0.01	ND	ND	ND	ND
4-ニトロトルエン	ND ~ 0.63	0.01	ND	ND	ND	ND

- 注) 1. 調査期間:平成23年9月27日
 2. μ g(マイクログラム)=100万分の1グラム
 3. 全国濃度範囲は、環境省が実施した環境ホルモン環境実態調査(平成10~15年度)の結果である。
 4. 河川名の下の記事は、公共用水域の地点名である。
 5. NDとは検出下限値未満であったことを表す。

②河川底質

単位: μ g/kg·dry

物質名	全国濃度範囲	検出 下限値	錦川 E-C-5	厚東川 U-C-2	阿武川 B-C-1	木屋川 S-C-3
トリブチルスズ	ND ~ 300	0.1	ND	ND	ND	ND
トリフェニルスズ	ND ~ 18	0.1	ND	ND	ND	ND
アルキルフェノール類						
ノニルフェノール	ND ~ 12,000	50	ND	ND	ND	ND
4-n-オクチルフェノール	ND ~ 170	5	ND	ND	ND	ND
4-t-オクチルフェノール	ND ~ 170	5	ND	ND	ND	ND
ビスフェノールA	ND ~ 350	5	ND	ND	ND	ND
ベンゾ[a]ピレン	ND ~ 3,800	1	ND	ND	ND	ND
4-ニトロトルエン	ND ~ 24	1	—	—	—	—

- 注) 1. 調査期間:平成23年9月27日
 2. μ g(マイクログラム)=100万分の1グラム、kg·dryは乾燥重量キログラム
 3. 全国濃度範囲は、環境省が実施した環境ホルモン環境実態調査(平成10~15年度)の結果である。
 4. 河川名の下の記事は、公共用水域の地点名である。
 5. NDとは検出下限値未満であったことを表す。

③湖沼水質

単位: μ g/L

物質名	全国濃度範囲	検出 下限値	菊川湖 K-C-1	小野湖 O-C-1	阿武湖 A-C-1
トリブチルスズ	ND ~ 0.09	0.002	ND	ND	ND
トリフェニルスズ	ND ~ 0.006	0.001	ND	ND	ND
アルキルフェノール類					
ノニルフェノール	ND ~ 21	0.1	ND	ND	ND
4-n-オクチルフェノール	ND ~ 0.01	0.01	ND	ND	ND
4-t-オクチルフェノール	ND ~ 13	0.01	ND	ND	ND
ビスフェノールA	ND ~ 19	0.01	ND	ND	ND
ベンゾ[a]ピレン	ND ~ 0.07	0.01	ND	ND	ND
4-ニトロトルエン	ND ~ 0.63	0.01	ND	ND	ND

- 注) 1. 調査期間:平成23年9月27日~平成23年10月13日
 2. μ g(マイクログラム)=100万分の1グラム
 3. 全国濃度範囲は、環境省が実施した環境ホルモン環境実態調査(平成10~15年度)の結果である。
 4. 湖沼名の下の記事は、公共用水域の地点名である。
 5. NDとは検出下限値未満であったことを表す。

④湖沼底質

単位: $\mu\text{g}/\text{kg}\cdot\text{dry}$

物質名	全国濃度範囲	検出 下限値	菊川湖 K-C-1	小野湖 O-C-1	阿武湖 A-C-1
トリフチルスズ	ND ~ 300	0.1	ND	ND	ND
トリフェニルスズ	ND ~ 18	0.1	ND	ND	ND
アルキルフェノール類					
ノニルフェノール	ND ~ 12,000	50	80	ND	50
4-n-オクチルフェノール	ND	5	ND	ND	ND
4-t-オクチルフェノール	ND ~ 170	5	ND	ND	ND
ビスフェノールA	ND ~ 350	5	ND	ND	ND
ベンゾ[a]ピレン	ND ~ 3,800	1	27	21	20
4-ニトロトルエン	ND ~ 24	1	—	—	—

- 注) 1. 調査期間:平成23年9月27日~平成23年10月13日
 2. μg (マイクログラム)=100万分の1グラム、 $\text{kg}\cdot\text{dry}$ は乾燥重量キログラム
 3. 全国濃度範囲は、環境省が実施した環境ホルモン環境実態調査(平成10~15年度)の結果である。
 4. 湖沼名の下の記事は、公共用水域の地点名である。
 5. NDとは検出下限値未満であったことを表す。

⑤海域水質

単位: $\mu\text{g}/\text{L}$

物質名	全国濃度範囲	検出 下限値	岩国・大 竹地先 E-D-107	徳山湾 T-D-2	徳山湾 T-D-4	仙崎湾 F-D-2	豊浦・豊 北地先 J-D-6
トリフチルスズ	ND ~ 0.09	0.002	ND	ND	ND	ND	ND
トリフェニルスズ	ND ~ 0.006	0.001	ND	ND	ND	ND	ND
アルキルフェノール類							
ノニルフェノール	ND ~ 21	0.1	ND	ND	ND	ND	ND
4-n-オクチルフェノール	ND ~ 0.01	0.01	ND	ND	ND	ND	ND
4-t-オクチルフェノール	ND ~ 13	0.01	ND	ND	ND	ND	ND
ビスフェノールA	ND ~ 19	0.01	ND	0.01	ND	ND	ND
ベンゾ[a]ピレン	ND ~ 0.07	0.01	ND	ND	ND	ND	ND
4-ニトロトルエン	ND ~ 0.63	0.01	ND	0.02	ND	ND	ND

- 注) 1. 調査期間:平成23年8月2日~平成23年11月16日
 2. μg (マイクログラム)=100万分の1グラム
 3. 全国濃度範囲は、環境省が実施した環境ホルモン環境実態調査(平成10~15年度)の結果である。
 4. 海域名の下の記事は、公共用水域の地点名である。
 5. NDとは検出下限値未満であったことを表す。

⑥海域底質

単位: $\mu\text{g}/\text{kg}\cdot\text{dry}$

物質名	全国濃度範囲	検出 下限値	岩国・大 竹地先 E-D-107	徳山湾 T-D-2	徳山湾 T-D-4	仙崎湾 F-D-2	豊浦・豊 北地先 J-D-6
トリフチルスズ	ND ~ 300	0.1	25	13	8.6	3.3	6.8
トリフェニルスズ	ND ~ 18	0.1	1	1.8	1.2	0.3	3.1
アルキルフェノール類							
ノニルフェノール	ND ~ 12,000	50	250	100	50	ND	50
4-n-オクチルフェノール	ND	5	ND	ND	ND	ND	ND
4-t-オクチルフェノール	ND ~ 170	5	ND	ND	ND	ND	ND
ビスフェノールA	ND ~ 350	5	ND	ND	ND	ND	ND
ベンゾ[a]ピレン	ND ~ 3,800	1	32	44	86	39	98
4-ニトロトルエン	ND ~ 24	1	—	—	—	—	—

- 注) 1. 調査期間:平成23年8月2日~平成23年11月16日
 2. μg (マイクログラム)=100万分の1グラム、 $\text{kg}\cdot\text{dry}$ は乾燥重量キログラム
 3. 全国濃度範囲は、環境省が実施した環境ホルモン環境実態調査(平成10~15年度)の結果である。
 4. 海域名の下の記事は、公共用水域の地点名である。
 5. NDとは検出下限値未満であったことを表す。

⑦水生生物

単位:μg/kg・wet

物質名	全国濃度範囲	検出 下限値	岩国 海域	徳山 海域	宇部 海域	仙崎湾
トリブチルスズ	ND ~ 120	1	1.4	2.2	ND	2.9
トリフェニルスズ	ND ~ 210	1	3.7	1.5	ND	1.1
アルキルフェノール類						
ノニルフェノール	ND ~ 780	50	ND	ND	ND	ND
4-n-オクチルフェノール	ND	5	ND	ND	ND	ND
4-t-オクチルフェノール	ND ~ 30	5	ND	ND	ND	ND
ビスフェノールA	ND ~ 15	5	ND	ND	ND	ND
ベンゾ[a]ピレン	ND	1	ND	ND	ND	ND
4-ニトロトルエン	ND ~ 5	1	—	—	—	—

- 注) 1. 調査期間:平成23年8月9日~平成23年10月21日
 2. μg(マイクロ)=100万分の1グラム、kg・wetは湿重量キログラム
 3. 全国濃度範囲は、環境省が実施した環境ホルモン環境実態調査(平成10~15年度)の結果である。
 4. 県内の調査対象生物はボラである。
 5. NDとは検出下限値未満であったことを表す。

⑧大気

単位:ng/m³

物質名	全国濃度範囲	検出 下限値	岩国市	周南市	宇部市
ヘキサクロロベンゼン	0.04 ~ 0.4	0.003	0.14	0.13	0.16

- 注) 1. 調査期間:平成23年7月25日~平成23年8月4日
 2. ng(ナノグラム)=10億分の1グラム
 3. 全国濃度範囲は、環境省が実施した環境ホルモン環境実態調査(平成10~15年度)の結果である。
 4. NDとは検出下限値未満であったことを表す。